



景色が気に入って選んだ土地。その眺めを活かすため、一番大きな窓を提案してくれたことがうれしかった。



「和洋折衷のレトロな家」それがコンセプトでした

不動産屋さんに勤めている私。家は大好きだし、それなりの知識もありました。だから、家づくりを考え始めたのは、結婚しすぐの頃でした。

エブリッジとの出会いは、たまたま近所でオーソナルハウスをやっている、軽い気持ちで見に行ったこと。木やタイルなどの素材使いもいし、飾りすぎず程よく装飾がされていて、全体のバランスが素敵でした。そして、私以上に気に入ったのがパパ。「エブリッジにする！こころ以上はないだろう」と惚れ込んでいましたね。

その頃には、私の建てたい家のイメージも固まっていた、「和洋折衷のレトロな家」。私の祖母の家は、長野県の妻籠宿という古い宿場町にあり、白と黒が茶

で彩られた、落ち着いた街並が大好きで幼い頃からよく遊びに行っていました。そんな原風景が私の中にあって、家を考えた時、心の中に浮かんできたのかも知れませんが、そんなイメージを、わかってくれたのはエブリッジだけだったんです。

エブリッジさんは、センスが良く、仕事というよりライフワークでやっているような、本当に家が好きな人たち。十分に私たちのわがままを聞いてくれて、障子や欄間などの建具やタイルを古道具屋さんやネットで買って持ち込んで、ちっとも嫌な顔をしないでどころか逆に協力してくれました。満足いくまで、建てたい家に忠実にこだわることができたから、住んで1年経っても何も不満はないですね。今度はガラッと模様替えしてみたいな。これからも、当分楽しめます。

家を建てようと思ったとき、心に浮かんだ原風景は、古い宿場町の祖母の家でした。



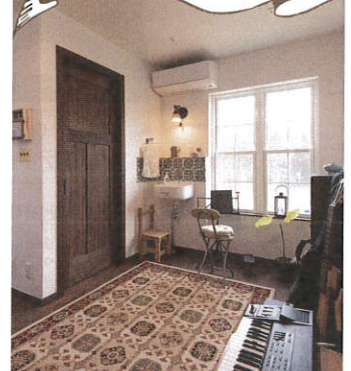
明希子ママファミリー Akiko Mama Family 丈典(たけのり)パパ、2歳の紗来(さら)ちゃんの3人家族。

お気に入りポイント3



机は、パパのお父さんも使い、パパ自身も学習机として使用していたものを、実家から譲り受けてパパの書斎に。パパは、趣味のギターを、時間を見つけては今でも練習しているそう。

お気に入りポイント2



2階のフリースペースは、パパがキーボードを弾くほか、室内干しや洗濯物をたたむ場所としても。敷かれた絨毯は「新婚旅行先でもある、スペイン風の柄が和にも合いそうで」。和洋折衷が素敵。

お気に入りポイント1



キッチンのカウンターは、明希子ママが、大好きなラジオを聴いたり、本を読んだりする場でもあります。ママがキッチンに立っていると、紗来ちゃんもスツールに上って、話しかけてくるのだそう。

ここもお気に入り



足元に明かり取りの窓があるので、とても明るい和室。上部は押し入れ収納に。



オリジナルキッチンの側面は収納に。レシビ本や紅茶をしまおうなど、実用的に使っているのだそう。



「狭くてもぜひほしかった」という玄関の土間は、三輪車やスコップなどの置き場としても活躍。



外壁はスリス漆喰。エイジング加工し、ガサガサした感じを出して。底は瓦屋根で、和洋折衷を意図。

たくさんの子育て中のママ、パパからうれしいメッセージがたくさん届いています！



由季子ママファミリーのお家  
始まりは、家づくり。インテリアも、手づくりも、夢中になって追いかけて、洋書だって読みました。



友紀子ママファミリーのお家  
悩んで、迷いながら、何度も話し合ってたからこそ、後悔のない、満足のいく家ができたのだと思います。



理絵ママファミリーのお家  
洋書を読み、ランプシェードを船便で取り寄せて。この家は、今まで温めていた想いの結晶です。

**F Ridge Home**  
エブリッジホーム株式会社 茨城県鉾田市柏熊457-4  
TEL:0291-32-3139 FAX:0291-32-2843  
http://www.tomine.co.jp/ エブリッジホーム 検索



資料請求  
エブリッジホームのすべてがわかるHow to bookと作品集DVDを差し上げます。

フェイスブックも見てね